

## Adobe Document Cloud のセキュリティ



[Adobe Document Cloud](#) は、あらゆる組織の文書プロセス変革を支援します。顧客を引きつけるデジタルエクスペリエンスでビジネスを加速し、効果的に競争優位に立つことができます。Document Cloud ソリューションには、Adobe Sign、Acrobat DC のほか、モバイルおよび Web アプリケーション、柔軟な API、ターンキーインテグレーション機能が含まれ、現在使用しているエンタープライズシステムや業務アプリケーションにシームレスに統合されます。Document Cloud を使用すれば、組織内の各部門で処理できる権限が増え、運用効率が向上します。また、操作ミスによるリスクを低減でき、最初から最後まで直観的なデジタル操作で完結できます。

アドビでは、企業文化、ソフトウェア開発、サービスオペレーションプロセスにセキュリティ対策が深く根づいています。ID 管理、データの機密保持から、文書の整合性まで、Document Cloud では、文書、データ、個人情報を保護するための業界標準セキュリティ対策を採用しています。Document Cloud ソリューションは、テクノロジー、人材、戦略的パートナーシップで構成される包括的ネットワークにより、業界最高水準のセキュリティ標準規格でお客様のデータを保護しています。高度なワークフロー、容易なライセンス管理、堅牢なクラウドインフラストラクチャを備えており、環境の変化に対応できるだけでなく、市場のニーズを満たすことができます。

### セキュリティ第一主義

アドビでは、デジタル体験のセキュリティを重要視しています。データのセキュリティ保護において拡大を続けるニーズと課題にお客様が対処できるようにするため、アドビはアプリケーション、システムおよびプロセスのモニタリングや改善に継続的に取り組んでいます。Adobe Sign、PDF サービスを含む Document Cloud サービスは、厳格なアプローチにより、文書の機密性、整合性、可用性を実現しています。現在、Document Cloud のデータセンターは地理的に分散した複数の地域に置かれ、アドビの委託先パートナー、Amazon Web Services (AWS) が運営しています。各 AWS データセンターには、最先端のハードウェア管理、空調管理、アクセス統制を備えています。詳しくは、<https://aws.amazon.com/security/> をご覧ください。

また、セキュリティ対策を取りまとめた Adobe Secure Product Lifecycle (SPLC) を採用し、ソフトウェア開発のプラクティス、プロセス、ツールに至るまで、Document Cloud 製品ライフサイクルの各段階でセキュリティ対策が組み込まれています。物理層からの保護については、インフラストラクチャー、アプリケーション、サービスに対するアドビのセキュリティ保護プロセスの基本的枠組みを導入しています。アドビのセキュリティプロセス、コミュニティ活動、Adobe Secure Product Lifecycle について詳しくは、[www.adobe.com/jp/security](http://www.adobe.com/jp/security) をご覧ください。

### 障害回復

アドビは高い運用水準を維持し、計画外のシステム停止により、お客様に影響を及ぼすことがないように努めています。万一、計画外のシステム停止が発生した場合は、Document Cloud のオペレーション担当者が直ちに対応し、できる限り早急にサービスへのフルアクセスを復帰できるようにします。データセンターは、お客様への影響を最小限に抑えてシステムまたはハードウェアの障害に耐えられるように設計されています。

### 空調管理

すべての Document Cloud データセンターに環境危険因子を検出する設備を備え、温度調節システムを使用して、SOC 2 Type 2 要件に基づく一定の運用温度と湿度レベルを維持しています。

## データの暗号化とプライバシー

アドビの製品とサービスは、Document Cloud を含めてプライバシー保護を前提に設計されています。Document Cloud では、保存時の文書とアセットは NIST（米国国立標準技術研究所）の AES（Advanced Encryption Standard）256 ビット暗号化で保護し、伝送時も、TLS（トランスポート層セキュリティ）で暗号化されたハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP）のサポートにより適切に保護しています。

お客様のデータにアクセスするのは、Document Cloud の担当従業員と委託先ベンダーが、業務とサポートに必要な範囲、または法律による要請がある場合に限られます。いかなる政府組織に対しても、アドビがユーザーからお預かりしているデータへの直接または組織的アクセスを許可することはありません。アドビのプライバシーへの対応については、[www.adobe.com/jp/privacy](http://www.adobe.com/jp/privacy) をご覧ください。

## 侵入検知とシステムモニタリング

不正侵入の脅威が高まり、ますます手口が巧妙になっています。これに対応するため、Document Cloud では様々な監視システムを使用して、ネットワークセキュリティ上の異常、サービス妨害攻撃、IP スプーフィング、ポートスキャン、その他の高度なサイバー攻撃を検出しています。アドビのオペレーションセキュリティチームは、一定のモニタリング警告条件に基づき、当社サービスの本番環境について重要なセキュリティおよび可用性基準を定義すると共に、サードパーティのモニタリングツールを使用して、定義済みのしきい値を超えるアクティビティの急増がないか、厳重にモニタリングしています。また、侵入検知システム（IDS）センサーをネットワークの重要なポイントに導入し、Document Cloud への不正なアクセスを検知して警告しています。加えて、機密情報のログ記録を継続的にモニタリングし、定期的にシステム監査を実施して、重要なアセットへの不正アクセスがないことを確認しています。

プロセスと手順は効率的に一貫性を維持し、継続できるように可能な限り自動化することで、人為的ミスの発生を抑えます。Document Cloud では、構成と修正プログラムの管理、基準イメージの作成と強化、システムモニタリングなどの領域で自動化を採用しています。包括的な変更管理プロセスを施行し、ネットワークまたは Document Cloud の本番環境での変更は、文書化、追跡、検証、承認を経てから実稼働に移行しています。

Document Cloud を含むアドビのクラウドベースサービスでインシデントが発生した場合は、セキュリティコーディネーションセンター（SCC）で一元的に対応、意思決定、外部モニタリングすることで、全機能の一貫性を維持し、問題の迅速な解決を図ります。

## 社内およびサードパーティによるテストと評価

製品の新機能は、セキュリティに影響する設計上の欠陥がないか確認する審査を受け、アプリケーション開発ライフサイクルにはセキュリティテストが統合されています。加えて、ソースコード審査と静的・動的分析スキャンによる脆弱性テストを実施しています。Document Cloud のメジャーリリースは、毎回リリース前に独立サードパーティ機関によるアプリケーション侵入テストを実施し、重大なバグをリリース前にすべて解消しています。

## コンプライアンス

Document Cloud サービスは ISO 27001:2013、PCI DSS\*、SOC 2 Type 2 に準拠しているほか、各業界の様々なコンプライアンス認証、標準規格、規則を満たしています。例として、Adobe Sign は SAFE-BioPharma<sup>®</sup> の認証を受けるとともに、HIPAA、FERPA、GLBA、21 CFR Part 11 に準拠しています。

## アクセス管理

Document Cloud のインフラストラクチャは、委託先クラウドサービスプロバイダー、Amazon Web Services（AWS）が管理する最高レベルのデータセンターにあります。ロールベースのアクセス管理方式で、最小権限の原則に基づき、情報リソースへのアクセス権限を制限します。アクセス権限の付与には、対象となるリソースの秘密性、完全性、可用性に対する直接の責任を負う役職者による承認を必要とします。承認された、権限のあるアドビの従業員、クラウドサービスプロバイダーの従業員、正規の文書で契約している請負業者以外は、北米、EU、オーストラリア、日本国内にある保護されたサイトにアクセスできません。

### 詳細情報

アドビのセキュリティ：  
[www.adobe.com/jp/security](http://www.adobe.com/jp/security)

アドビのプライバシーポリシー：  
[www.adobe.com/jp/privacy](http://www.adobe.com/jp/privacy)



Adobe

アドビ システムズ 株式会社  
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎 イーストタワー  
[www.adobe.com/jp](http://www.adobe.com/jp)

Adobe Systems Incorporated  
345 Park Avenue  
San Jose, CA 95110-2704  
USA  
[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

\* PCI DSS 対応については、Adobe Send & Track サービスは除きます。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, and the Adobe PDF logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2017 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.